

6 3 6 1 - 1 3 4
平成17年10月25日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第11号について
平成17年度病害虫発生予察注意報第11号を発表したので送付します。

平成17年度病害虫発生予察注意報第11号

平成17年10月25日
宮 崎 県

病害虫名 うどんこ病、ハダニ類
作物名 イチゴ
1 発生地域 県下全域
2 発生時期 本圃定植初期
3 発生量 うどんこ病 やや多
ハダニ類 多

4 注意報の根拠

- 1) うどんこ病
10月中旬現在の発生状況は表1のとおりで、発生面積率、発生葉率ともに平年に比べやや多い。
- 2) ハダニ類(ナミハダニ、カンザワハダニ)
10月中旬現在の発生状況は表1のとおりで、発生面積率は平年よりやや多、寄生株率は平年に比べ多である。
- 3) 一番花着花後は、薬剤散布が制限されるため早期防除が重要である。
- 4) 向う1ヶ月の長期予報によると、天気は数日の周期で変わり、気温は平年並か高いと予想され(鹿児島地方気象台 10月21日発表)ており、うどんこ病やハダニ類の蔓延・増殖に好適な条件は続くと考えられる。

表1 10月中旬の巡回調査による発生状況

	うどんこ病		ハダニ類	
	発生面積率	発病葉率	発生面積率	寄生株率
本年	27.3	3.6	36.4	17.3
平年	12.7	1.4	22.6	4.5
前年	18.2	2.0	9.1	0.4

5 防除上の注意

- 1) うどんこ病・ハダニ類とも多発生後の防除は困難となるので、早期発見、早期防除に努める。どちらも葉裏に寄生することが多いので、葉裏に薬液がかかるように丁寧に散布する。
- 2) うどんこ病については上位葉への進展が見られるなど病徴の激しいほ場においては、1回散布では防除効果が現れにくいことがあるので、1週間間隔で2回以上の防除を実施する。
- 3) ハダニ類はイチゴ以外の植物にも寄生するので、ほ場内外の除草を行う。
- 4) うどんこ病の罹病葉やハダニ類が寄生した葉はほ場内に放置せず、ビニル袋などに密封して処分する。
- 5) 同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤のローテーション散布に努める。
- 6) 効果のある薬剤等防除その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。

《連絡先》
病害虫防除・肥料検査センター 興相
TEL: 0985-73-6670 Fax: 0985-73-7499
E-mail: byougaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp